



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

現時点において、全世界で新型コロナウイルス感染症による旅行制限を実施 - UNWTO 報告

2020年4月28日付 UNWTO 本部発表の和訳です。

原文はこちらから：<https://www.unwto.org/news>

UNWTO の調査によると、新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的大流行）により、世界中のすべての国において旅行制限の導入が促されたことが明らかになりました。これは国際観光の歴史上、最も厳しい制限であり、今までのところ、この危機に対応するために導入された制限を解除した国はありません。

UNWTO による最新のデータは、以前の調査に続き、世界中のすべての国が現時点において、制限を実施していることを示しています。それらのうち 83%の国で、新型コロナウイルス感染症に関する制限を実施してから既に **4 週間以上経過**していますが、4月20日現在、これまでに**どの国も制限を解除していません**。

UNWTO のズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は、「観光は、人を最優先に考えてきました。私たちのセクターは、また、復興を推進する際に、その道を先導していくことができます。世界規模の旅行制限に関するこの調査は、安全が確認された際に各国が旅行制限を緩和又は解除できるようになった時に、タイムリーで責任ある回復戦略の実行を支援するでしょう。このようにして、個人と国全体の両方に持続可能な復興への道筋を示し、観光が提供する社会的・経済的利益を取り戻すことができます。」と述べました。



旅行制限の厳しさに関する時系列調査

UNWTO の調査では、一般的な概要だけでなく、世界中の地域のすべての国によって導入されてきた旅行制限の類型を分析するとともに、世界保健機構（WHO）が新型コロナウイルス感染症について、国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態であると宣言した 1 月 30 日以降、これらの制限の進展を記録しています。

最新の分析によると、世界の 217 の目的地のうち、

- ・ 45%が「旅行者は入国不可」という観光客に対する完全あるいは部分的な国境閉鎖を実施
- ・ 30%が「すべての便の運航を一時停止」、すなわち、国際便の全部または一部を一時停止
- ・ 18%が特定の出国からの旅行者又は特定の国・地域を経由した旅行者の入国を禁止
- ・ 7%が検疫又は 14 日間の自己隔離及びビザ対策を含む様々な対策を適用

このような背景の下、UNWTO は世界中の政府に対し、この前例のない課題を通じて観光を支援することを約束するよう求めてきました。ポロリカシュヴィリ事務局長によると、新型コロナウイルス感染症が原因となる突然の予想しない観光需要の減少は、**数百万もの雇用と生計を危険にさらす**と同時に、近年の**持続可能な開発と平等**の進展を脅かします。